

中経連

1・2
2022
January・February
Vol.357

未来につなぐ
地域の文化

かまくらの里



年頭
所感

一般社団法人中部経済連合会
会長
水野 明久

特集

中経連創立70周年特集
この10年の活動を振り返る
次世代自動車産業・航空宇宙産業の推進
ナゴヤ イノベーターズ ガレージの開設

- 中部圏における高度外国人材の活躍促進に関する報告書
- 西日本経済協議会第63回総会および九州視察団の派遣
- 地域会員懇談会
- 静岡県・岐阜県との懇談会

CONTENTS

1 年頭所感

一般社団法人中部経済連合会 会長 水野 明久

2 中部圏における高度外国人材の活躍促進に関する報告書

3 西日本経済協議会第63回総会および九州視察団の派遣

4 地域会員懇談会

5 静岡県・岐阜県との懇談会

6 中国経済の現状と今後

第2回「中部の魅力を語る なでしこの会」

7 委員会活動

12 中経連ダイジェスト

16 Garage Nagoya Topics



静岡地域会員懇談会の様子 (P4)

18 中経連創立70周年特集 この10年の活動を振り返る

次世代自動車産業・航空宇宙産業の推進

ナゴヤ イノベーターズ ガレージの開設

25 新入会員紹介

株式会社エアウィーヴ／株式会社パソナテック／森藤技研工業株式会社

30 中部圏の景況感の現状と見通し

32 中部圏主要経済指標

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

かまくらの里 (長野県飯山市、表紙写真提供: 信州いいやま観光局)

毎年1月中旬から2月下旬にかけ、長野県飯山市の「かまくらの里」に約20基のかまくらが登場します。2001年、この地区の信濃平スキー場が閉鎖され、地元の観光協会は目の前にある雪を活用したかまくらを、冬の観光資源とすることにしました。当初は民宿経営者4、5人によって製造されていたかまくらは、徐々に活動に賛同する有志が増え、2008年に「かまくら応援隊」を結成し、かまくらの製造、維持管理、撤去まで、かまくらの里の運営のすべてを担っています。2012年には、信州いいやま観光局



大きなかまくらはバルーンを使って製造
写真提供: かまくら祭り実行委員会

と連携し、かまくらの中で地元食材たっぷりの「のろし鍋」を食べる「レストランかまくら村」をオープン。かまくら、そして鍋という日本情緒たっぷりの特別な体験を求めて、国内のみならず、海外からの旅行者にも人気を博しています。

※例年2月中旬に開催される「かまくら祭り」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022年は中止となります。

かまくらの里ホームページ: <https://kamakuranosato.net/>